

事務事業名	医療機関等電力等価格高騰対策支援事業		所属部	健康福祉部	所属課	保健医療政策課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	保健医療政策G	課長名	三成 裕子
	施策名	〈19〉地域医療の充実		担当者名	松尾 博	電話番号	40-1040 (内線) 2171
	目的対象	市民	意図	安心して必要な医療サービスを受ける。			
	基本事業	〈053〉かかりつけ医制度の普及と在宅医療の推進		予算科目	0:12:0:0:2 0:5:0:5:6:2	大事業名	保健衛生総務管理事業 中事業名 医療機関等電力等価格高騰対策支援事業
目的対象	市民	意図	かかりつけ医を持つ。自宅での治療を受けることができる。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市内の病院・診療所・歯科診療所・薬局	原油価格・物価高騰に伴い、多大な影響を受けている市内の医療機関等の経済的負担を軽減し、安定的な医療サービスの提供が継続できるよう支援する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化及びコロナ禍における物価高騰の影響により、公定価格により医療費に転嫁できない医療機関等を支援するため、支援金を支給する。 財源: 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(10/10)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 県が実施した物価高騰緊急支援事業の半額を支給した。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) なし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 対象事業所	箇所			49	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
報償金 10,830千円(病院2、診療所19、歯科14、薬局13)		財源内訳	国庫支出金	千円			10,830	
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
		事業費計		千円	0	0	10,830	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	原油価格・物価高騰の影響を受ける市内の医療機関等への影響の緩和。
② 事業実施するうえでの課題	なし
③ 課題解決に向けた改革改善等	なし